



CHAPTER 3

Package Manager

この章では、Administrator Console で Cisco VXC Manager パッケージの日常的な管理作業を行う方法を説明します。Cisco VXC Manager 環境内のデバイスに配布できる Cisco VXC Manager パッケージ（ソフトウェア、イメージ、設定など）の管理についても説明します。

Cisco VXC クライアントのパッケージの管理の詳しい手順については、第 4 章「Cisco VXC ファームウェアおよび設定のアップグレード手順」を参照してください。

Cisco VXC Manager パッケージの管理

Cisco VXC Manager Administrator Console のツリー ペインで [Package Manager] をクリックすると、Package Manager が表示されます。Package Manager では、Cisco VXC Manager 環境内のデバイスに配布できる Cisco VXC Manager パッケージを簡単に表示、管理できます（表 3-1 を参照）。また、フィルタ機能やカスタマイズ機能を使用して、Cisco VXC Manager パッケージを容易に表示できます。

図 3-1 Package Manager

Name	Description	Status	Default
Agent Update	Agent Update	Active	Yes
Device Configuration	Device Configuration	Active	Yes
Images	Images	Active	Yes
Other Packages	Other Packages	Active	Yes
ThreadX Configuration	ThreadX Configuration	Active	No

Package ウィザードを使用して Cisco VXC Manager パッケージを作成および登録する前に、更新配布プロセスと Cisco VXC Manager パッケージの内容を理解し、登録する既存の Cisco VXC Manager パッケージの場所を把握し、イメージまたは設定の取得元デバイスに Cisco VXC Manager Agent がすでにインストールされていることを確認しておく必要があります。登録された Cisco VXC Manager パッケージは、更新として Cisco VXC Manager ネットワーク内のデバイスに配布できます（「Update Manager」(P.5-1) を参照）。



ヒント


Cisco VXC Manager システムのすべてのデバイスについて、Cisco VXC Manager パッケージの登録とスケジュール設定を同時に実行する場合は、Cisco VXC Manager Mass Imaging Tool を使用すると簡単にこれらのタスクを実行できます（「Cisco VXC Manager の Mass Imaging Tool の使用」(P.D-1) を参照）。

表 3-1 に、Package Manager を使用して実行できる作業の概要を示します。

表 3-1 Package Manager で行う日常的なタスク

実行できるタスク	手順	詳細
スクリプトファイルから Cisco VXC Manager パッケージを作成および登録し、このパッケージを配布できる状態にする。	Administrator Console のツリー ペインで [Package Manager] を右クリックして [New] > [Package] を選択し、[Package Wizard] を開きます。 [Register a Package from a Script File (.RSP)] オプションを選択し、ウィザードの指示に従います。	「スクリプトファイル (.RSP) からのパッケージの登録」(P.3-4) ヒント スクリプトファイルについては、「Cisco VXC ファームウェアおよび設定のアップグレード手順」(P.4-1) を参照してください。
ThreadX パッケージ (RDP、ビデオ、VMwareView など) を作成および登録し、このパッケージを配布できる状態にする。	「ThreadX パッケージのビルドと登録」(P.3-5) のガイドラインに従います。 パッケージを作成したら、該当するデバイスにパッケージをドラッグアンドドロップし、パッケージの展開をスケジュールできます。	「ThreadX パッケージのビルドと登録」(P.3-5)
登録 Cisco VXC Manager パッケージの詳細を表示する。	Administrator Console のツリー ペインで、[Package Manager] を展開して、Cisco VXC Manager パッケージが含まれているフォルダを選択します。詳細 ペインで Cisco VXC Manager パッケージを右クリックし、[Properties] を選択します。	「登録 Cisco VXC Manager パッケージの詳細の表示」(P.3-6)
登録 Cisco VXC Manager パッケージのスクリプトを表示および変更する。	Administrator Console のツリー ペインで、[Package Manager] を展開して、Cisco VXC Manager パッケージが含まれているフォルダを選択します。詳細 ペインで Cisco VXC Manager パッケージを右クリックして [View Package Script] を選択し、[Package Script] ダイアログボックスを開いて使用します。	「登録 Cisco VXC Manager パッケージのスクリプトの表示と変更」(P.3-8)  注意 デフォルトの Cisco VXC Manager パッケージのスクリプトは変更できません。

表 3-1 Package Manager で行う日常的なタスク (続き)

実行できるタスク	手順	詳細
登録 Cisco VXC Manager パッケージの スクリプトを適切なフォルダにエクスポートする。	Administrator Console のツリー ペインで、[Package Manager] を展開して、Cisco VXC Manager パッケージが含まれているフォルダを選択します。詳細 ペインで Cisco VXC Manager パッケージを右クリックして [Export Package Script] を選択し、[Browse for Folder] ダイアログボックスを開いて使用します。	「登録 Cisco VXC Manager パッケージの スクリプトのエクスポート」(P.3-9)
登録済みの Cisco VXC Manager パッケージをシステムから削除する。	Administrator Console のツリー ペインで、[Package Manager] を展開して、Cisco VXC Manager パッケージが含まれているフォルダを選択します。詳細 ペインで Cisco VXC Manager パッケージを右クリックして [Delete] を選択し、削除操作を確定します。 ヒント 複数の Cisco VXC Manager パッケージを選択するには、Ctrl キーを押しながらクリックするか、Shift キーを押しながらクリックします。	デフォルトの Cisco VXC Manager パッケージは削除できません。 配布をスケジュールされている登録済みの Cisco VXC Manager パッケージは削除できません。「デバイス アップデートのスケジュール管理」(P.5-1) で説明されているように、スケジュールされている更新を最初に削除してから、登録済みの Cisco VXC Manager パッケージを削除する必要があります。  注意 配布されたことのない登録済みの Cisco VXC Manager パッケージを削除すると、Cisco VXC Manager は、Cisco VXC Manager リポジトリからも削除します。Cisco VXC Manager パッケージは、Cisco VXC Manager の外部にコピーがある場合に限り回復可能です。そのような場合は、Cisco VXC Manager パッケージを再登録できます。 ヒント すでに配布されている Cisco VXC Manager パッケージを削除する場合は、Cisco VXC Manager リポジトリの Backup フォルダから回復して、再登録できます。Cisco VXC Manager パッケージをアーカイブすると、このパッケージには日付スタンプを含む名前が付けられるため、アーカイブされている Cisco VXC Manager パッケージを再登録する前に、このパッケージの名前を元の名前に変更する必要があります。

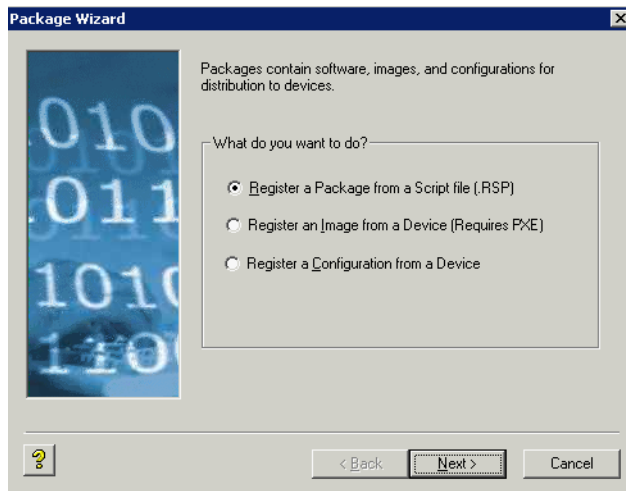
スクリプト ファイル (.RSP) からのパッケージの登録

.rsp スクリプト ファイルからパッケージを登録するには、次の手順に従います。

手順

- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Package Manager] を右クリックして [New] > [Package] を選択し、[Package Wizard] を開きます。

図 3-2 Package ウィザード



- ステップ 2** [Register a Package from a Script File (.RSP)] オプションを選択して [Next] をクリックします。

- ステップ 3** 登録する Cisco VXC Manager パッケージの Cisco VXC Manager スクリプトファイル (.rsp) のパス (例 : push_9V92_S550_512.rsp) を入力し ([Browse] を使用してファイルを選択することもできます)、[Next] をクリックします。[Software Package Information] ダイアログボックスが開きます。

図 3-3 Software Package Information



- ステップ 4** Cisco VXC Manager パッケージの名前、説明、およびカテゴリが .rsp ファイルから取得され、表示されます。
- ステップ 5** Cisco VXC Manager パッケージを配布するかどうかに基づいて（配布する場合はアクティブ）、[Active] チェックボックスをオンまたはオフにします。
- ステップ 6** [Next] をクリックします。ウィザードによって、新しい Cisco VXC Manager パッケージを作成して登録する準備ができたことが通知されます。
- ステップ 7** [Next] をクリックし、Cisco VXC Manager パッケージを作成および登録します。
- ステップ 8** Cisco VXC Manager パッケージの作成と登録が完了したら、[Finish] をクリックします。Cisco VXC Manager パッケージがマスター リポジトリにコピーされ、該当するカテゴリの下に表示されます。これで、Cisco VXC Manager パッケージが配布可能になりました（「[デバイス アップデートのスケジュール管理](#)」(P.5-1) を参照）。

ThreadX パッケージのビルドと登録



(注)

このセクションの内容は、PCoIP 向け ThreadX ファームウェアを実行する Cisco VXC 2111/2211 クラウド環境にのみ適用されます。

以下のコンフィギュレーション パッケージは、ThreadX デバイスへの大規模展開を行う場合に作成、登録できます。

- **VMwareView パッケージ** : VMwareView パッケージを ThreadX デバイスに展開し、VDM サーバ設定を設定できます。
- **ビデオ パッケージ** : ビデオ パッケージを ThreadX デバイスに展開し、最低および最高イメージ品質設定などのグローバル ビデオ設定を設定できます。
- **RDP パッケージ** : RDP パッケージを ThreadX デバイスに展開し、グローバル RDP 設定を設定できます。

これらのパッケージを作成したら、必要なデバイスにパッケージをドラッグアンドドロップし、その展開をスケジュールします（パッケージのスケジュールの詳細については、「[Update Manager](#)」(P.5-1) を参照してください）。



ヒント Cisco VXC Manager にバンドルされているデフォルト/サンプル ThreadX パッケージを使用できます。カスタム VMWareView パッケージ、ビデオ パッケージ、RDP パッケージを作成するには、これらのデフォルト/サンプル ThreadX パッケージをコピーして変更します。その後、これらのパッケージを ThreadX デバイスに登録して展開できます。デフォルト/サンプル ThreadX パッケージは Package Manager ノードの ThreadX Configuration フォルダ内にあります。

デフォルト/サンプル ThreadX パッケージからカスタム ThreadX パッケージを作成するには、次のガイドラインに従います（ビデオ パッケージと RDP パッケージを作成する VMWareView の例でも同じガイドラインを使用します）。

カスタム VMWareView ThreadX パッケージの作成例：

手順

-
- ステップ 1** プレフィクス VMWareView で始まる名前（例：VMwareViewTest1）のフォルダを作成します。
- ステップ 2** 作成したフォルダ（例：VMwareViewTest1）の中に、フォルダと同名で以下の内容の .rsp ファイル（例：VMwareViewTest1.rsp）を作成します。
- ```
[Version]
Number=VMWareViewTest1
Description=Sample ThreadX VMWareView
OS=TDC
Category=ThreadX Configuration
[Script]
IP=10.10.10.1
Port=80
SSL=0
AutoConnect=0
```
- ステップ 3** RSP スクリプトの「Number=」セグメントに、RSP ファイル名およびフォルダ名と同じ値を指定します（カスタム パッケージの命名に同じ規則が適用されるビデオ パッケージおよび RDP パッケージの例でもこのようにします）。
- ステップ 4** Administrator Console のツリー ペインで、[Package Manager] を展開します。
- ステップ 5** 詳細ペインで [Other Packages] を右クリックし、[New] > [Package] を選択します。
- ステップ 6** [Register a Package from a Script file (.RSP)] を選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 7** [Browse] をクリックし、登録する .rsp パッケージ ファイルのファイルパス（例：C:\VMwareViewTest1\VMwareViewTest1.rsp）を選択し、[Open] をクリックします。
- ステップ 8** [Next] をクリックして、Package ウィザードのサマリーを表示します。
- ステップ 9** [Next] をクリックして、[Package Registration Progress] 画面を表示します。
- ステップ 10** [Next] をクリックして、パッケージを作成します。
- ステップ 11** パッケージの作成と登録が完了したら、[Finish] をクリックします。
- ステップ 12** Administrator Console のツリー ペインで [Package Manager] > [Other Packages] を選択し、目的のパッケージがパッケージ リスト内にあることを確認します。
- ステップ 13** 後でパッケージをデバイスにドラッグ アンド ドロップし、その展開をスケジュールできます（「Update Manager」(P.5-1) を参照）。
- 

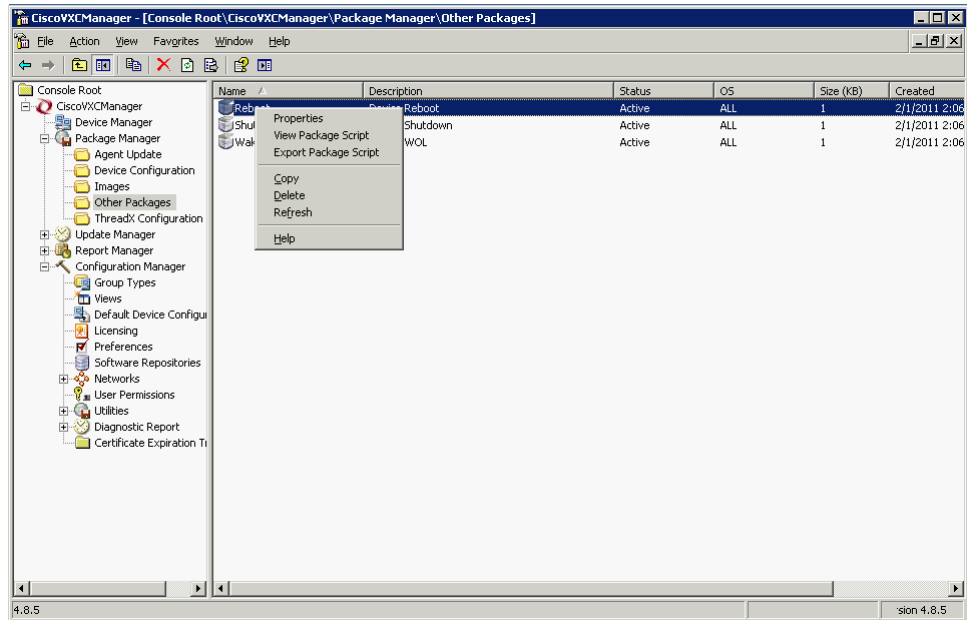
## 登録 Cisco VXC Manager パッケージの詳細の表示

登録 Cisco VXC Manager パッケージの詳細を表示するには、次の手順に従います。

### 手順

- 
- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Package Manager] を展開し、表示する Cisco VXC Manager パッケージが含まれているフォルダを選択します。

図 3-4 Cisco VXC Manager パッケージのプロパティ



**ステップ 2** 詳細ペインで Cisco VXC Manager パッケージを右クリックして [Properties] を選択します。[Edit Package] ダイアログボックスが開き、Cisco VXC Manager パッケージの詳細が表示されます。

図 3-5 Edit Package



[Edit Package] ダイアログボックスには次の内容が表示されます。

- [Name] : Cisco VXC Manager パッケージの名前。
- [Description] : Cisco VXC Manager パッケージの説明。
- [Active] : 選択されている場合は、デバイスへの Cisco VXC Manager パッケージの配布が許可されます。選択されていない場合は、Cisco VXC Manager パッケージをデバイスに配布できません。
- [Operating System] : この Cisco VXC Manager パッケージと互換性のあるオペレーティング システム。
- [Size] : Cisco VXC Manager パッケージのサイズ (KB 単位)。
- [Date Created] : Cisco VXC Manager パッケージの作成日時。



## 登録 Cisco VXC Manager パッケージのスキプトの表示と変更



### ヒント

Cisco VXC Manager スクリプト言語の使用 : Cisco VXC Manager スクリプト言語は、Cisco VXC Manager パッケージをビルドする際に使用できる単純なスクリプト言語です。また、ファイルのコピーや、Cisco VXC Manager が管理するデバイスのレジストリの変更といった基本的な作業を実行するときにも使用できます。Cisco VXC Manager スクリプト言語はプログラミング言語ではありません（ループ、分岐、サブルーチンの使用に対応していません）。ただし、さまざまな日常的な機能（特定のデバイスのオペレーティング システムのバージョンのチェックなど）を実行できる小さなコマンドセットがあります。



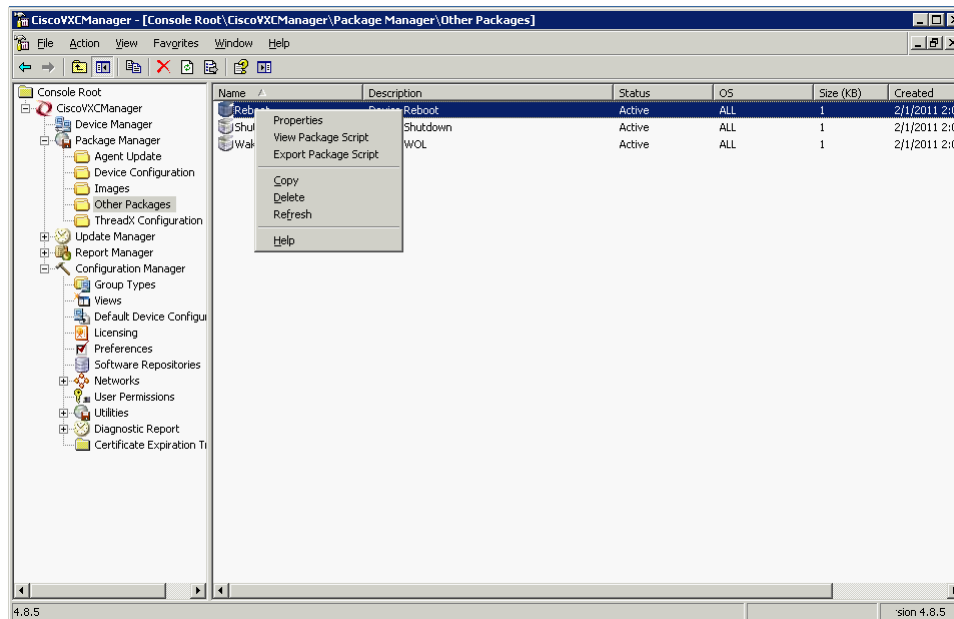
### 注意

デフォルトの Cisco VXC Manager パッケージのスクリプトは変更できません。

### 手順

- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Package Manager] を展開し、表示する Cisco VXC Manager パッケージが含まれているフォルダを選択します。

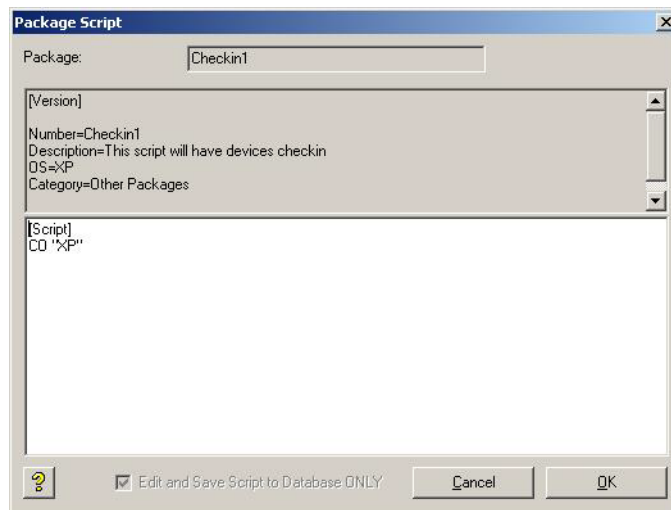
図 3-6 Cisco VXC Manager パッケージ スクリプトの表示



- ステップ 2** 詳細ペインで Cisco VXC Manager パッケージを右クリックして [View Package Script] を選択し、[Package Script] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスには、Cisco VXC Manager パッケージのスクリプトが表示されます。



図 3-7 Package Script



- ステップ 3** [Edit] を選択し、[Save Script to Database ONLY] チェックボックスをオンにし、.rsp ファイルのスクリプトを変更します。
- ステップ 4** 変更が完了したら、[OK] をクリックします。

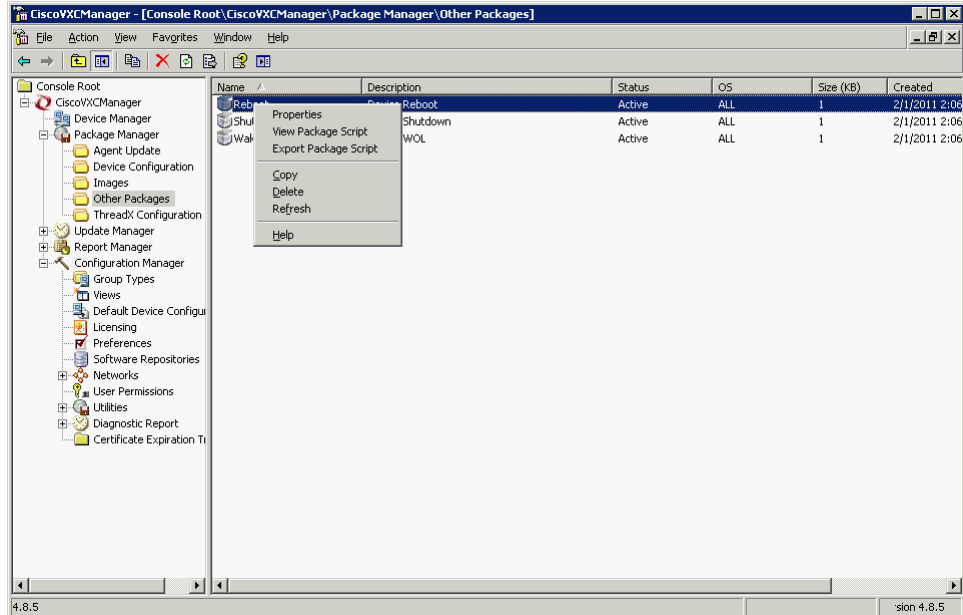
## 登録 Cisco VXC Manager パッケージのスクリプトのエクスポート

登録 Cisco VXC Manager パッケージのスクリプトをエクスポートするには、次の手順に従います。

### 手順

- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Package Manager] を展開し、表示する Cisco VXC Manager パッケージが含まれているフォルダを選択します。

図 3-8 Cisco VXC Manager パッケージ スクリプトの表示



**ステップ 2** 詳細ペインで Cisco VXC Manager パッケージを右クリックして [Export Package Script] を選択し、[Browse for Folder] ダイアログボックスを開きます。

**ステップ 3** Cisco VXC Manager パッケージのスクリプトのエクスポート先フォルダを選択して確定します。